

心豊かで実りある日々のために

校長 小林 隆裕

9月から子どもたちが練習を重ねてきた成果を発揮するマラソン大会が、暑くもなく寒くもない天候の中で行われました。リモートによる開会式でこんな話をしました。

テレビのスポーツ中継って、たくさんありますね。野球、サッカー、ゴルフ、マラソン、4年に一度のオリンピック、パラリンピック・・・世の中にはスポーツをする人を見たい、という人がたくさんいるのですが、なぜ見たいのでしょうか。私は、こう考えています。スポーツを見る人は、スポーツで頑張っている人の姿を見たいのです。頑張っている姿を見て、「自分も頑張ろう」と思えたり、元気になったりするのです。今日のマラソン大会では、まずは自分のために、練習の成果を十分発揮してください。そして応援してくれる人たちのためにも、全力で取り組んでください。皆さんの姿で見ている人たちを元気にしてください。



とはいえ、マラソンは苦しいし、きついですし、距離が長い分、それを感じている時間も長いです。でも、応援してくれる人たちの前に来ると、いつもよりパワーが出て、頑張っている姿が、見ている人のパワーになり、応援になって、またみなさんにパワーを送ることになります。スポーツは、やっている人と見ている人の間で、たくさんのパワーが行ったり来たりしているのだと思います。

今日の大会が終わった後で、一人一人が「疲れたけど、頑張ってたな」と思えるといいなあ、と思います。皆さんの頑張りを期待しています。

実際、大勢の方に応援していただきながら、子どもたちは練習の時以上のハイペースで走ることができました。ラストスパートの力強い走りは、間違いなくたくさんの応援と声援からいただいたパワーによるものです。自己のベスト記録を更新した子も多かったようですし、練習の時のよりも順位を上げてうれしそうにしている子もいました。頑張る姿と応援によるエネルギーの好循環の成果です。

今月の生活目標は「友だちのよいところを見つけよう」です。全校朝会で絵本「ええところ」（くすのきしげのり作 ふしょうしょうこ絵）を読み聞かせしました。主人公のあいちゃんは、友人のともちゃんに「わたしの ええところ おしえて！」とお願いします。ともちゃんは「えーっとなあ・・・」と考えるのですが・・・という物語です。

最後の部分を引用します。

やさしいのは、ともちゃんや。わたしの ええところを いっしょうけんめいかんがえて、みつけてくれた ともちゃんが いちばん やさしいんや。

わたし きめたんや。わたしも ともちゃんみたいに、ほかのこの ええところを みつけてあげるねん。いっぱい みつけて いっぱい いうてあげるねん。

自分の「ええところ」は自分自身ではなかなか見つけられないもの。お互いの「ええところ」を見つけて伝え合うことができれば、それは大きな応援になりますし、生きていくうえで必要なエネルギーを循環させることになるのだらうと思います。

実りの秋、充実の季節です。何に取り組むにもいい時期を迎えました。様々な活動やいろいろな人とのやり取りを通して、子どもたちには、心豊かで実りある日々を過ごしてほしいと願っています。

